

第1編 現代に生きる自己の課題

1 1 人生の中の青年期

問題 4ページ

● 整理しよう

- | | |
|------------|-------------|
| 1 第二の誕生 | 7 アイデンティティ |
| 2 第二次性徴 | 8 アイデンティティの |
| 3 心理的離乳 | 拡散 |
| 4 第二反抗期 | 9 小さなおとな |
| 5 マージナル-マン | 10 通過儀礼 |
| ／境界人／周辺人 | 11 モラトリアム |
| 6 ライフサイクル | 12 モラトリアム人間 |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)イ (3)ア

問2 (1)イ (2)ア (3)エ (4)ウ

● やってみよう

- (1)ア (2)コ (3)ケ (4)イ (5)ク (6)ウ
(7)キ (8)エ (9)カ (10)オ

2 2 自分をみつめる

問題 6ページ

● 整理しよう

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 葛藤／コンフリクト | 11 自尊の欲求 |
| 2 欲求不満／フラストレーション | 12 自己実現の欲求 |
| 3 近道反応 | 13 パーソナリティ |
| 4 防衛機制 | 14 遺伝 |
| 5 抑圧 | 15 環境 |
| 6 合理化 | 16 内向 |
| 7 マズロー | 17 外向 |
| 8 生理的欲求 | 18 ジェームズ |
| 9 安全の欲求 | 19 他者 |
| 10 愛情と所属の欲求 | 20 G.H. ミード |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)イ (3)ア

問2 (1)生理的 (2)安全

(3)愛情と所属 (4)自尊

(5)自己実現 (6)欠乏 (7)成長

● やってみよう

1. (1)h (2)f (3)d (4)c (5)b (6)i (7)a (8)e
(9)g
2. (1)d (2)a (3)b (4)c

3 3 社会を生きる

問題 8ページ

● 整理しよう

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 第1次ベビーブーム | 9 保守 |
| 2 シラケ | 10 生きがい |
| 3 記号 | 11 ワークシェアリング |
| 4 差異 | 12 若者文化／ユースカルチャー |
| 5 新人類 | 13 対抗文化／カウンタカルチャー |
| 6 オタク | 14 純粋な関係性 |
| 7 非正規 | 15 関わりあい |
| 8 正社員 | |

● 確認問題

問 (1)オ (2)ア (3)イ (4)エ (5)ウ

● やってみよう

C

実戦問題 第1編 現代に生きる自己の課題

問題 10ページ

問1 ③

人間とはどのような動物か、さまざまなとらえ方がある。

人間は道具を作りだして生活することからホモ・ファール（工作人）とよばれるので、アーB。

人間は笑う動物であり、遊びや遊戯的な活動から芸術など文化的領域を形づくることからホモ・ルーデンス（遊戯人）とよばれるので、イーD。

人間は言語としての文字や記号、ことばを使う理性・思考をもつことからホモ・サピエンス（知恵ある人）とよばれるので、ウーA。

ホモ・レリギオースス（宗教人）は人間が持つ宗教性に着目した言葉だが、難度が高い。宗教の英語訳 religion から判断できるかもしれないが、他の3つが判断できれば、消去法から正解できる。

問2 ④

マズローの欲求階層説についての理解が求められる問題である。五つの階層を理解しておくことはもちろんであるが、下層の欲求が満たされて、上層の欲求が現れるという順序性が問われている。正解④は第4階層の他者からの尊敬欲求が満たされて、第5階層の欲求が現れるという順序性に合致している。

①は第2階層が満たされなくて、第5階層が現れるとして順序性が合致せず不適。

- ②も第3階層の愛情への欲求と第1階層の生理的欲求が同列とされ、順序性が合致せず不適。
- ③も第4階層（上位）が満たされれば下位の第3階層（愛情）や第2階層（安全）が満たされるとし、順序性が合致せず不適。

問3 ②

②はルソーについての記述で、「第二の誕生」についての記述は適当であるが、青年期の人間を中間者である境界人とよんだのはレヴィンであり不適。①③④はそれぞれの人物についての記述として適当。境界人（マージナル・マン）→レヴィンがわかれば判断できる。

問4 ⑤

Aはスピーチを断りたい（回避）と友人に不審がられたくない（回避）との葛藤なので、B。

Iは二つの大学（二つの対象）があり、第一志望学部（接近）と遠隔地で親が反対（回避）の大学と、地元である（接近）と第一志望がない（回避）大学とがそれぞれ存在する葛藤なので、D。

Uは安定した会社に入りたい（接近）と劇団のオーディションを受けたい（接近）との葛藤なので、A。

Eはあこがれの先輩の部に入部したい（接近）と練習が厳しいので入りたくない（回避）との葛藤なので、C。

第2編 第1章 哲学と宗教の源流

4 1 万物の始源の探究

問題 12 ページ

●整理しよう

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 フィロソフィア | 10 数的な関係による調和 |
| 2 ホメロス | 11 ヘラクレイトス |
| 3 根源 | 12 火 |
| 4 タレス | 13 ログス |
| 5 アルケー | 14 ゼノン |
| 6 水 | 15 エンペドクレス |
| 7 自然哲学 | 16 デモクリトス |
| 8 アナクシメネス | 17 アトム |
| 9 ピュタゴラス | |

●確認問題

- 問1 (1)イ (2)ウ (3)ア
問2 (1)ア (2)オ (3)ウ (4)イ (5)エ

●やってみよう

- (1)パルメニデス、ゼノン（エレアの）
(2)アリストテレス (3)ソクラテス、プラトン

- (4)プロタゴラス、デモクリトス
(5)ピュタゴラス、エピクロス (6)タレス
(7)ヘラクレイトス (8)ゼノン（ストア派）

5 2 ソクラテス

問題 14 ページ

●整理しよう

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 直接民主 | 9 問答 |
| 2 弁論術 | 10 善 |
| 3 ソフィスト | 11 無知の自覚 |
| 4 ゴルギアス | 12 汝自身を知れ |
| 5 プロタゴラス | 13 徳 |
| 6 人間は万物の尺度である | 14 産婆術 |
| 7 相対主義 | 15 主知主義 |
| 8 デルフォイの神託 | 16 よく生きる |

●確認問題

- 問1 (1)ウ (2)イ (3)ア
問2 ④

●やってみよう

1. プラトン
2. ソクラテス
3. イ
4. 「ソクラテス以上に知恵ある者はいない」
5. 無知の自覚／無知の知

6 3 プラトン

問題 16 ページ

●整理しよう

- | | |
|----------|--------|
| 1 ログス | 10 利得 |
| 2 感覚 | 11 哲学者 |
| 3 アイデア | 12 防衛 |
| 4 美そのもの | 13 生産 |
| 5 想起 | 14 勇気 |
| 6 エロース | 15 節制 |
| 7 善のアイデア | 16 正義 |
| 8 知恵 | 17 四元徳 |
| 9 名誉 | |

●確認問題

- 問1 (1)エ (2)ア (3)ウ (4)イ (5)オ
問2 ④
問3 イ

●やってみよう

- (1)エ (2)イ (3)オ (4)ウ (5)カ (6)ア (7)キ

7 4 アリストテレス

問題 18 ページ

整理しよう

- | | |
|-------------|----------|
| 1 エイドス | 10 テオリア |
| 2 ヒュレー | 11 倫理的徳 |
| 3 個々のもの | 12 中間／中庸 |
| 4 目的因 | 13 全体的正義 |
| 5 可能態 | 14 部分的正義 |
| 6 現実態 | 15 配分的正義 |
| 7 実体 | 16 調整的正義 |
| 8 人間はポリス的動物 | 17 友愛 |
| 9 知性的徳 | |

確認問題

問1 (1)ウ (2)エ (3)オ (4)イ (5)ア

問2 ④

やってみよう

1. (1)a (2)b (3)a (4)b
2. 『形而上学』／『自然学』／『政治学』など

8 5 ヘレニズムの思想

問題 20 ページ

整理しよう

- | | |
|------------|--------------|
| 1 アレクサンドロス | 10 隠れて生きよ |
| 2 ヘレニズム | 11 ゼノン |
| 3 理性 | 12 理性 |
| 4 世界市民 | 13 自然に従って生きよ |
| 5 エピクロス | 14 自然法 |
| 6 快楽主義 | 15 パトス |
| 7 肉体的快楽 | 16 アパテイア |
| 8 精神的な自足 | 17 禁欲主義 |
| 9 アタラクシア | 18 懐疑主義 |

確認問題

問1 (1)ウ (2)イ (3)エ (4)ア

問2 ①ゼノン ②快楽主義 ③アパテイア
④エ ⑤ウ ⑥ア ⑦イ

やってみよう

1. (1)② (2)③ (3)①
2. (1)③ (2)ストア派

実戦問題 第1節 古代ギリシアの思想

問題 22 ページ

問1 ④

ソクラテスは友人が受けたこの神託に疑問を持つことから、無知の知（無知の自覚）にたどりついた。

①ソクラテスが知の探究によって到達し、人々に説いた

言葉。プラトン著『クリトン』にある。

②ソクラテスの知徳合一（真理を知ることが徳である）の立場を表す言葉。

③デルフォイのアポロン神殿に刻まれた言葉で、本来は「身のほどを知れ」という意味であった。

問2 ①

問答法とは、問に対する相手の答えの矛盾を指摘し、無知を自覚させるものである。それによって知の探究を深めさせる。

②神託はソクラテスが知者だというものであった。その言葉通りの意味に疑問をもち、ソクラテスは知の探究に向かったので誤り。

③問答法は真理の教授という一方的な方法ではないので誤り。

④互いの優れた考えではなく、相手の矛盾を突くというアイロニー（皮肉法）である。

問3 ②

イデアは生成消滅する不完全な個物とは異なる完全なものであり、知性（理性）によってとらえられる。

①イデアが個物に内在すると考えたのはアリストテレスなので誤り。

③前半が①と同じく誤り。後半については、知性がエロース（思慕）に導かれて直接的にアナムネーシス（想起）するものなので誤り。

④後半が誤りであり、③に同じ。

問4 ②

人間の魂は本来イデア界にあったが、人間として生まれることで肉体に閉じ込められて現実界にある。魂つまり理性は、イデアを分有している個物を感覚することで、イデアを想起する。

①前半の死後にといいところが誤り。人間は生きているときも、理性によってイデアを知ることができる。後半は正しい。

③考え方が逆で、国家を人間の魂と類比的に考え、各人に正義が実現するように国家に調和としての正義が実現する。

④後半の互いに抑制が誤り。理性が気概の助けをかりて欲望を制御することで正義が実現する。

問5 ③

a 美そのものは理性によってしか見ることができない。これを観想という。b 友愛は同好の士の間での愛。c 神の無償の愛を受けた隣人愛とは他者への愛。

問6 ②

利害得失を調整して、損害に見合う賠償をするなどの部分的正義を調整的正義という。

- ①業績に応じた配分は配分的正義。
- ③正義は習性的徳の一つなので、説明になっていない。
- ④全体的正義の説明である。調整的正義、配分的正義は部分的正義。

問7 ①

自然に従って生きる、情念（パトス）によって動かされないということからアパテイアだと分かる。

- ②プラトンの魂の三分説と徳の発揮を説明している。
- ③アリストテレスの中庸を選ぶことで習性的徳が身に付くということの説明。
- ④エピクロス派のアタラクシアの説明。

問8 ①

感情を乱すようなこと、苦痛のない心の平静をアタラクシアという。また、「隠れて生きる」からもエピクロス派と分かる。

- ②アリストテレスのメソテース（中庸）を選ぶ習性的徳の説明。
- ③プラトンのイデア論の説明。
- ④ストア派の理想とする生き方。

9 1 イスラエル民族と一神教 問題 24 ページ

●整理しよう

- | | |
|----------|----------|
| 1 ユダヤ教 | 10 アブラハム |
| 2 モーセ | 11 十戒 |
| 3 バビロン捕囚 | 12 律法 |
| 4 預言者 | 13 選民思想 |
| 5 一神教 | 14 絶対神 |
| 6 偶像崇拜 | 15 創造神 |
| 7 旧約聖書 | 16 有限 |
| 8 ヤーウェ | 17 裁きの神 |
| 9 人格神 | |

●確認問題

問1 (3), (5), (7), (8), (9), (11), (13)

問2 ア(4) イ(2) ウ(1) エ(3)

●やってみよう

1. (1)ウ, オ (2)イ
2. (1)ヤーウェ/エホバ
(2)あなたの神, 主の名をみだりに唱えてはならない。
(3)主

10 2 イエスの思想とキリスト教 問題 26 ページ

●整理しよう

- | | |
|-------|-------|
| 1 メシア | 2 イエス |
|-------|-------|

- | | |
|---------|-------------|
| 3 福音 | 11 十字架 |
| 4 福音書 | 12 ペトロ |
| 5 ファリサイ | 13 キリスト |
| 6 形 | 14 教会 |
| 7 心 | 15 原始キリスト教団 |
| 8 アガペー | 16 新約聖書 |
| 9 神 | 17 ルカ |
| 10 隣人愛 | |

●確認問題

問1 (2)

問2 (1)

●やってみよう

(1)イ (2)ア, エ, オ (3)ウ, カ

11 3 キリスト教の発展 問題 28 ページ

●整理しよう

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 パウロ | 10 アウグスティヌス |
| 2 回心 | 11 三位一体論 |
| 3 贖罪 | 12 神の国 |
| 4 恩寵 | 13 地上の国 |
| 5 原罪 | 14 スコラ哲学 |
| 6 信仰 | 15 トマス=アキナス |
| 7 教父 | 16 アリストテレス |
| 8 新プラトン主義 | 17 調和 |
| 9 プロティノス | |

●確認問題

問1 信仰, 希望, 愛

問2 新約

問3 普遍論争

問4 イ

●やってみよう

1. (1)パウロ イ, ウ, オ
(2)アウグスティヌス ア
(3)トマス=アキナス エ
(4)プラトン
(5)アリストテレス
2. 実在論は「類」の概念が実在し、それが具体化されて個物が生じるとする。唯名論は、実在するのは個物であり、普遍は実在しないとす。

12 4 イスラームの始まり 問題 30 ページ

●整理しよう

- | | |
|-------|---------|
| 1 カーバ | 2 ムハンマド |
|-------|---------|

- | | |
|-------------|--------------|
| 3 アッラー | 12 クルアーン／コーラ |
| 4 ムスリム | ン |
| 5 預言者 | 13 平等 |
| 6 聖遷／ヒジュラ | 14 最後の審判 |
| 7 イスラーム暦／ヒ | 15 偶像崇拜 |
| ジュラ暦 | 16 シャリーア |
| 8 ウンマ | 17 六信 |
| 9 カリフ | 18 五行 |
| 10 スンナ／スンニー | 19 聖戦 |
| 11 シーア | |

確認問題

問 イ

やってみよう

- (1)喜捨 (2)巡礼 (3)礼拝 (4)信仰告白 (5)断食
- (1)神 (2)天使 (3)啓典 (4)預言者 (5)来世
(6)天命

実戦問題 第2節 唯一神の宗教

問題 32ページ

問1 ③

エジプトに移る際ではなく、出エジプトに際してのもの。

問2 ②

イエスは律法を内面化することを要求し、人間は罪を克服できず、神の赦しでしか救えないと考えた。

- ①神の意志による予定という考え方は、アウグスティヌスの恩寵予定説やカルヴァンの予定説に見られる。
- ③イエスは自由意志によって自ら救われることは難しいという立場である。だから神の救いが必要なのである。
- ④律法の厳格な順守という形式主義を批判した。

問3 ②

イエスの十字架が人間の原罪に対する贖罪であり、キリストと神を信じることでしか人間は救われないとする信仰義認を説いた。

- ①苦行ではなく信仰のみ。
- ③誠実ではなく希望。なおこの中で最も重要なのは愛である。
- ④三位一体説はずっと後のアタナシウス派である。

問4 ③

神の国は「あなたたちの間にある」という言葉もあるように、内面的なものである。

- ①政治的な国という意味ではない。
- ②ユダヤ教の選民思想は、イエスは否定している。

④死後の天国のようなものではない。

問5 ④

五行のうち礼拝（一日5回、メッカに向かって祈る）の指示を書いている箇所である。

- ①五行の巡礼は可能であれば一生に一度でよいが、巡礼の月に行う。
- ②断食はラマダーンの月の日の出から日没まで。昼夜を問わずは誤り。
- ③信仰告白の内容だが、ムハンマドは神の子ではなく預言者であり使徒。五行は他に喜捨がある。

問6 ①

ムハンマドは唯一神の信仰を主張したので対立した。

- ②ユダヤ、キリスト教も同じ唯一神を信仰している。アッラーはアラビア語で単に神を意味する。訳語の違いにすぎない。だからイスラームでは、ユダヤ、キリスト教徒を啓典の民とよんでいる。
- ③カーバの神像は破壊したが、カーバそのものに対する礼拝は行われた。巡礼もカーバに行くことである。
- ④ムハンマドは救い主ではなく、最後の預言者、使徒である。

13 1 古代インド思想の形成

問題 34ページ

整理しよう

- | | |
|-----------|------------|
| 1 ヴェーダ | 10 アートマン／我 |
| 2 バラモン | 11 六師外道 |
| 3 カースト | 12 ヴァルダマーナ |
| 4 ウパニシャッド | 13 不殺生 |
| 5 業／カルマ | 14 苦行 |
| 6 輪廻／輪廻転生 | 15 ヒンドゥー教 |
| 7 解脱 | 16 ヴィシュヌ |
| 8 梵我一如 | 17 シヴァ |
| 9 ブラフマン／梵 | |

確認問題

問1 (1)オ (2)ウ (3)ア (4)エ
(5)イ (6)キ (7)カ

問2 (1)イ (2)ア (3)ウ

問3 (1)ア (2)エ (3)オ (4)ウ (5)イ

やってみよう

- (教科書 p.49 参照)
- ①悟りを開いたとされる場所；ブッダガヤー
②初転法輪を行ったとされる場所；サールナート

14 2 仏陀と仏教

問題 36 ページ

整理しよう

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 ガウタマ=シッダー ルタ | 11 涅槃寂靜 |
| 2 ブッダガヤー | 12 因縁生起/縁起 |
| 3 仏陀 | 13 四諦 |
| 4 初転法輪 | 14 苦諦 |
| 5 中道 | 15 集諦 |
| 6 四法印 | 16 滅諦 |
| 7 諸行無常 | 17 道諦 |
| 8 諸法無我 | 18 八正道 |
| 9 煩惱 | 19 三宝歸依 |
| 10 一切皆苦 | 20 五戒 |
| | 21 サンガ |

確認問題

- 問1 (1)イ (2)ウ (3)ア (4)エ
問2 (1)ウ (2)エ (3)ア (4)イ
問3 (1)中道 (2)因縁生起/縁起

やってみよう

- (1)正しい見方 (2)正しい思考 (3)正しい言葉
(4)正しい行為 (5)正しい生活 (6)正しい努力
(7)正しい留意 (8)正しい精神統一
- (1)不殺生 (2)不偷盜 (3)不邪淫 (4)不妄語
(5)不飲酒

15 3 仏陀以後と大乘の発展

問題 38 ページ

整理しよう

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 経 | 10 六波羅蜜 |
| 2 律 | 11 ナーガールジュナ/ 竜樹 |
| 3 大蔵経 | 12 ヴァスバンドウ/世 親 |
| 4 上座部 | 13 唯識 |
| 5 大衆部 | 14 南伝仏教 |
| 6 部派仏教 | 15 北伝仏教 |
| 7 利他行 | |
| 8 大乘 | |
| 9 菩薩 | |

確認問題

- 問1 (1)ウ (2)ア (3)イ
問2 (1)ウ (2)エ (3)イ (4)カ
問3 (1)イ, ウ (2)ア, エ

やってみよう

- (教科書 p.57 参照)
- (1)ア (2)イ (3)ウ (4)オ (5)エ

実戦問題 第3節 古代インド思想と仏教

問題 40 ページ

問1 ②

初期仏教では不殺生は五戒の一つであり、ジャイナ教では重要な戒律である。

- ①三毒は仏教における煩惱で貪、瞋、癡。
- ③初期仏教ではなくバラモン教以来の修行法である。
- ④正しい見解などは初期仏教からある八正道のこと。六つの徳目は六波羅蜜という。

問2 ④

後半の恒常不変の実体ではないが諸法無我、変化してやまないが諸行無常という四法印を表す。

- ①後半の原因や条件を超越した本質つまり我は存在しないというのが仏教の立場。
- ②存在するともしないともいえない不可知なものを仏教は想定しない。
- ③根源的な精神を仏教は想定しない。全体として真の自己という実体を想定しないのが仏教である。

問3 ④

あらゆるものが一定の条件や原因によって生じるとするのが縁起説である。

- ①四諦は煩惱ではなく、煩惱を滅して悟りに至る道筋を説いたブッダの教え。
- ②前半の固有の本質は不変というのが仏教の立場からは誤り。
- ③業、常住不変の真理というのはバラモン教のウパニシャッド哲学の立場。

問4 ④

真理について無知であることを無明という。諸行無常・諸法無我・一切皆苦・涅槃寂靜は四法印という。

- ①ブッダなど初期仏教は大乘仏教のような他者救済の優先は説かない。また、六波羅蜜の利他は誤りで、禪定。
- ②ブッダは永続する自己のようなウパニシャッド哲学の我(アートマン)を否定した。
- ③後半の八正道は苦行というのは誤り。苦行を否定した中道である。

問5 ④

道諦は正しい修行が中道であり、具体的には八正道であるとしている。

- ①人生が苦であることは正しいが、諦めるというのは誤り。
- ②集諦は苦が煩惱の集まりという意味。
- ③煩惱が自然に滅することはなく、修行が必要である。

問6 ①

大乘仏教の空の説明。

- ②ウパニシャッド哲学は苦行による解脱を説く。一切衆生悉有仏性は大乘仏教の考え方。
- ③梵我一如はウパニシャッド哲学。
- ④ジャイナ教ではなく大乘仏教の世親らの唯識思想。

16 1 中国思想の源流

問題 42 ページ

● 整理しよう

- | | |
|-------------|---------|
| 1 天 | 9 宗法 |
| 2 書経 | 10 社稷 |
| 3 天人相関／天人合一 | 11 国家 |
| 4 天命 | 12 儒者 |
| 5 帝 | 13 春秋戦国 |
| 6 易姓革命 | 14 諸子百家 |
| 7 周 | 15 経世済民 |
| 8 宗族 | 16 道 |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)ア (3)イ

問2 (1)イ (2)エ (3)オ (4)ア (5)ウ

● やってみよう

- (1)孫子 (2)公孫竜 (3)許行 (4)張儀 (5)鄒衍
- (6)軍事戦略を研究したが、人生哲学にも通じた。
- (7)弁論や説得の技術を研究し、論理的な考察を行った。
- (8)農本思想にもとづく社会秩序を主張した。
- (9)外交を論じた。
- (10)陰陽五行説のもととなる原理を論じた。

17 2 儒教の始まり 孔子の思想 問題 44 ページ

● 整理しよう

- | | |
|-------|---------|
| 1 論語 | 11 小人 |
| 2 徳 | 12 君子 |
| 3 仁 | 13 徳治主義 |
| 4 信 | 14 宗教 |
| 5 忠 | 15 死 |
| 6 恕 | 16 別愛 |
| 7 孝 | 17 兼愛 |
| 8 悌 | 18 非攻 |
| 9 礼 | 19 節用 |
| 10 利己 | |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)イ (3)キ (4)オ (5)エ (6)ク (7)ア (8)カ

問2 (1)イ (2)ウ (3)ア

● やってみよう

- (1) 口がうまく、顔を飾るものには、仁の徳はほとんどない。
- (2) 古いことに習熟して新しいことも知れば、教師となることができるだろう。
- (3) 学んでも自分で考えなければ迷ってしまう。自分で考えても学ばなければ、独断になって危険である。
- (4) 君子は仲良くするが追随はしない。小人は追随するが仲良くはしない。

18 3 儒教の再構築 孟子・荀子・法家思想

問題 46 ページ

● 整理しよう

- | | |
|-----------|---------|
| 1 王道 | 13 浩然の気 |
| 2 義 | 14 五倫 |
| 3 性善説 | 15 親 |
| 4 良知良能／良知 | 16 序 |
| 5 四端 | 17 五常 |
| 6 惻隠 | 18 性悪 |
| 7 羞悪 | 19 礼 |
| 8 辞讓 | 20 法 |
| 9 是非 | 21 名分 |
| 10 仁 | 22 韓非 |
| 11 智 | 23 李斯 |
| 12 大丈夫 | |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)オ (3)ア (4)エ (5)イ

問2 (1)ウ (2)ア (3)イ

● やってみよう

- 1. (1)惻隠 (2)辞讓 (3)義 (4)智
- 2. (1)父子 (2)君臣 (3)夫婦 (4)長幼 (5)朋友

19 4 儒学の展開 朱子学・陽明学

問題 48 ページ

● 整理しよう

- | | |
|---------|---------|
| 1 書経 | 8 窮理 |
| 2 朱子 | 9 格物致知 |
| 3 理 | 10 大義名分 |
| 4 理気二元論 | 11 心即理 |
| 5 性即理 | 12 知行合一 |
| 6 本然の性 | 13 良知 |
| 7 敬／居敬 | 14 致良知 |

● 確認問題

問1 (1)エ (2)ウ (3)イ (4)ア (5)オ

問2 (1)イ (2)ア (3)ウ

● やってみよう

(1)性即理 (2)心即理 (3)敬/居敬 (4)窮理 (5)到良知

20 5 老荘思想

問題 50 ページ

● 整理しよう

- | | |
|--------|---------|
| 1 仁義 | 9 万物 |
| 2 法 | 10 分析 |
| 3 自然 | 11 万物斉同 |
| 4 無知 | 12 無用の用 |
| 5 知足 | 13 死 |
| 6 作為 | 14 真人 |
| 7 無為自然 | 15 逍遙遊 |
| 8 無/無名 | 16 心齋坐忘 |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)ア (3)オ (4)エ (5)イ

問2 (1)エ (2)ア (3)ウ (4)イ

● やってみよう

(解答略)

実戦問題 第4節 中国思想

問題 52 ページ

問1 ④

ア 礼によって社会規範を守ることによって秩序を維持するのは荀子の思想。

イ 易姓革命の考え方で孟子。

ウ 徳治主義の考え方で孔子。

エ 法による統治で法家思想なので韓非子。

問2 ①

他人を思いやることは恕。(自己を偽らないことが忠。)「他者の不幸を見過ごしにできない心」は惻隱の心で、四端の一つ。

問3 ③

ア 理気二元論, 性即理, 窮理の思想から朱子学と分かる。

イ 特定の間人への愛(別愛)を批判し, 兼愛を説くので墨家。

ウ 私欲の増大を批判し, 人為を排して素朴な生活を説くのは道家。

エ 道徳に批判的で法治を主張するので法家。

問4 ①

孔子の道は道徳, 老子の道は万物の根源である。

②孔子の道は理法のように抽象的ではない。理法のようなものを想定するのは朱子。老子の道は人間の心ではなく人間を超えた万物の根源。心に従うのは王

陽明。

③前半は正しい。後半は墨子の兼愛の思想。

④前半は荀子や法家の立場。後半は老子。

問5 ①

「上善は水のごとし」という老子の言葉があるように、水のような生き方は人と争わず、へりくだっているが強い。

②前半は仏教的, 後半は古代日本の禊的な思考。

③荘子が理想とする生き方。

④諸子百家以前からの中国の天の思想, 天人相関。

第2編 第2章 日本の思想の歩み

21 1 日本の自然と風土

2 日本の神話と古代日本人の宗教観

3 神道の成立とその展開 問題 54 ページ

● 整理しよう

- | | |
|---------|----------------|
| 1 風土 | 10 崇り |
| 2 モンスーン | 11 タマ/タマシイ |
| 3 鎮める | 12 祖霊 |
| 4 罪 | 13 古神道 |
| 5 穢れ | 14 本地垂迹 |
| 6 禊 | 15 神仏習合 |
| 7 清明心 | 16 神本仏迹/神主仏従 |
| 8 誠 | 17 神仏分離令/神仏判然令 |
| 9 八百万の神 | |

● 確認問題

問1 (1)エ (2)イ (3)カ (4)オ (5)ウ (6)ア

問2 (1)カ (2)ア (3)ウ (4)オ (5)イ (6)エ (7)キ

● やってみよう

(1)受容的・忍従的 (2)服従的・戦闘的・意志的 (3)西アジア (4)従順で合理的 (5)ヨーロッパ

実戦問題 第1節 日本の自然と日本神話

問題 56 ページ

問1 ④

アニマとは動くものを意味し, 靈魂のことである。自然界の事物に靈魂が宿るとするのは普遍的な原始宗教。

①原理と素材から説明するというのは合理的な思想で, 自然哲学や近代科学の立場。

②相互依存が縁起と考えれば, 大乘仏教のような立場。

③超越者たる神というのはキリスト教やイスラームなどの一神教の思想。

問2 ④

自ずから成った世界と多神教=八百万の神が『古事記』にある日本神話である。

- ①唯一絶対の創造神は、ユダヤ教、キリスト教、イスラームの思想。
- ②多数の神の背後に唯一の神という考え方は、日本神話にはない。
- ③神の住む高天原は世界の中心ではない。また、人の住む葦原中国との間で、支配-被支配の関係とまでは言えない。

問3 ③

清明心つまり私心のない、④清い、②明るい(=①赤い)心の反対が、暗い=③黒い、汚い心である。

問4 ④

祭祀を妨げることは罪だが、神の戒律によって罰せられるのではなく、共同体からの排除や罰であった。また、神は善とは限らず、崇る神でもある。なお、罪や穢れは禊や禊によって取り去ることもできる。

問5 ④

災害や病気は外から来るもので、禊や禊によって取り除いたり、鎮めの儀式や供え物という代償によって抑えることができると考えた。

- ①邪悪な力というような強烈な概念はない。後半は正しい。
- ②報いという考えは因果応報のような思想が広まってからであり、「身を慎み戒律に従う」も仏教的。
- ③心の持ち方、告白や悔い改めはキリスト教的な発想である。

問6 ④

神道と仏教が一つの教えに統一されるというわけではない。また、国家神道の時代は、神仏分離令で仏教から分けられて以後である。

問7 ③

本地垂迹は仏が本地(本当の姿)、日本の神が垂迹(仮の姿)という考え方である。仮の姿という意味で、権現ともいう。これに対して、②が反本地垂迹説で、伊勢神道など。

- ①④のような、人との関係はない。

問8 ②

源信の浄土信仰の立場で、仏教なので誤り。

- ①明治天皇の即位の宣命にある言葉で、国民に対して正直の心で天皇に仕えるよう訴えたもの。
- ③④は吉田松陰の言葉で、孟子などの儒教にもあるが、日本的な私心のなさを訴えている。

22 1 仏教の伝来と国家

問題 58 ページ

● 整理しよう

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 聖明王 | 8 東大寺 |
| 2 崇仏 | 9 大仏/盧遮那仏 |
| 3 蕃神/客神 | 10 南都六宗 |
| 4 法隆寺 | 11 行基 |
| 5 十七条憲法 | 12 鑑真 |
| 6 世間虚仮、唯仏是真 | 13 戒律 |
| 7 鎮護国家 | |

● 確認問題

問1 (1)イ (2)エ (3)カ (4)ク (5)キ

問2 (1)ウ (2)ア (3)イ

● やってみよう

(1)カ (2)オ (3)エ (4)ウ (5)イ (6)ア

23 2 平安時代の仏教

問題 60 ページ

● 整理しよう

- | | |
|------------|---------|
| 1 鎮護国家 | 9 金剛峯寺 |
| 2 悟り | 10 大日如来 |
| 3 山岳仏教 | 11 身口意 |
| 4 法華経 | 12 即身成佛 |
| 5 延暦寺 | 13 曼荼羅 |
| 6 一切衆生悉有仏性 | 14 仏法 |
| 7 法華一乗 | 15 源信 |
| 8 山家学生式 | 16 空也 |

● 確認問題

問1 (1)ウ (2)エ (3)ア (4)イ

問2 (1)ウ (2)ア (3)エ (4)イ

問3 (1)イ (2)ア

● やってみよう

(1)正 (2)教 (3)行 (4)証 (5)像

24 3 鎌倉時代の仏教 (1)

問題 62 ページ

● 整理しよう

- | | |
|-------------|---------|
| 1 鎌倉新仏教 | 9 非僧非俗 |
| 2 南都 | 10 歎異抄 |
| 3 浄土宗 | 11 悪人正機 |
| 4 南無阿弥陀仏 | 12 自然法爾 |
| 5 称名念仏/口称念仏 | 13 踊念仏 |
| 6 本願 | 14 捨聖 |
| 7 他力易行 | 15 叡尊 |
| 8 教行信証 | 16 忍性 |

● 確認問題

- 問1 (1)エ (2)ア (3)ウ (4)イ
 問2 (1)ア (2)エ (3)イ (4)ウ
 問3 (1)イ (2)ウ (3)ア

● やってみよう

- (1)エ (2)ア (3)ウ (4)オ (5)イ (6)カ (7)キ

25 3 鎌倉時代の仏教 (2) 問題 64 ページ

● 整理しよう

- | | |
|-------------|----------|
| 1 臨済 | 9 立正安国論 |
| 2 悟り | 10 密教 |
| 3 身心脱落 | 11 明恵／高弁 |
| 4 永平寺 | 12 茶道 |
| 5 修証一等／修証一如 | 13 わび |
| 6 只管打坐 | 14 幽玄 |
| 7 南無妙法蓮華經 | 15 さび |
| 8 唱題 | |

● 確認問題

- 問1 (1)イ (2)ア (3)エ (4)ウ
 問2 (1)ウ (2)イ (3)エ (4)ア
 問3 (1)イ (2)ウ (3)ア

● やってみよう

- (1)実感されにくい
 (2)日常の中にあり、現実的
 (3)無常観
 (4)人生に対する反省や否定をともなった宗教意識であり、その自覚のこと

実戦問題 第2節 仏教の受容と展開

問題 66 ページ

問1 ②

ブツダの入滅後、仏の教え・修行・悟りがすべて実現していた時代を正法、仏の教えと修行だけがあつた時代を像法、仏の教えだけが残り、修行も悟りも失われた時代が末法なので、①③④は誤り。

問2 ①

法然が念仏以外の修行で救い(往生)のみを主張し、戒律や学問を否定したと批判された。
 ②法然の立場は旧仏教の改革ではなく根本的な批判であつた。また、法然が悟りを求める心(菩提心)の立場に立っているように記述しているが、華嚴宗の明恵は、法然の方が菩提心を失わせると批判している。
 ③末法思想のことだが、すでに法然以前から広まっている。

④この誓いは菩薩の請願なので、大乘仏教を基調とする日本の仏教はすべてこの考え方を受け入れているといえる。

問3 ③

親鸞は末法の意味から、人間は自力修行が不可能な時代であると自覚し、善人とは自力修行と救い(往生)が可能と知っている者だとした。救いは善を為すことが不可能であることを自覚した悪人にあると考えた。

- ①善に努めることは不可能なのだから誤り。
 ②悪人の説明は正しいが、善人であっても阿彌陀仏の力によらずには往生可能ではないので誤り。
 ④善人の説明は正しいが、悪人の説明が誤り。

問4 ④

栄西は『興禪護国論』で鎮護国家のために禅宗が役立つという立場であつた。

- ①聖徳太子の凡夫の思想と読める。
 ②厭離穢土、欣求浄土の思想と読むことができ、浄土信仰の説明。
 ③最澄の一切衆生悉有仏性、悉皆成仏の思想である。

問5 ③

源信は『往生要集』で仏の姿などを思い浮かべる観想念仏を説いた。

- ①親鸞の絶対他力の思想。
 ②法然の只管打坐の説明。
 ④日蓮の唱題を勧める思想。

問6 ④

道元は比叡山での修行によつても、一切衆生悉有仏性であるのになぜ修行をしなければならぬか納得できなかった。宋で禅を学び、只管打坐、修証一等を悟つた。

- ①③の前半については、道元は末法と他力を認めない。
 ①後半は空海の主張。
 ②後半は日蓮に近い思想。
 ③後半は山崎闇斎の儒学思想。

問7 ④

『法華經』には、これを広める者に法難があると説かれており、日蓮は法華經の行者の使命感を持った。

- ①日蓮は末法思想にもとづく他力信仰に批判的で、浄土の実現という浄土教の立場に立たない。
 ②読経が難しいので唱題を提唱した。また、他宗は誤っていると批判した(四箇格言)。
 ③阿彌陀仏ではなく釈迦そのもの。